

きつねの田植え 奈良県

むかし、かしはら 檣原に、そうごろう 惣五郎さんというお百姓さんがおつてん。惣五郎さんは、さんたんぶ 三段歩もある広い田んぼ持つてはつてんて。

ある年の田植えどきのことや。惣五郎さん、広い田んぼの植えつけみな終えて、夕方、家に帰って行かはつてん。ほしたら、とちゅうで、子ぎつねが野つぼにはまって死んでるのん見つけたんや。惣五郎さんは、「かわいそうに」いうて、子ぎつねを引きあげて、そばの畑のすみに埋めてやつてんて。

その晩、惣五郎さんが寝てたら、おもての戸をドンドンたたく者がおるねん。

（こんな夜なかに何事やねん）

惣五郎さんが起きあがると、家の外から五、六人の声で、

「お田引いた。惣五郎。三段歩のお田みな引いた」いうねん。

「なんのこつちゃ」いうて戸開けてみたけど、だれもおらへんねん。

あくる朝になって、惣五郎さんが田んぼに行つてみたら、きのうせつかく植えた三段歩の田んぼの苗が、一本残らずひき抜かれててんて。惣五郎さん、びっくりして、

「わしの田んぼの苗がみんな抜かれてしもうたんや。だれがやったか知らんか」いうて、村の人に聞いてまわつてん。けど、みんな「知らん」「知らん」いうねんて。

惣五郎さんは、ふときのうのこと思い出して、子ぎつね埋めてやった畑のすみに行つてみたんや。そしたら、土が掘りかえされてな、子ぎつねの体がなくなつててんて。

（ははあ、わしが子ぎつねを殺したと、親ぎつねが思い違いしとんねんな。ほんで、仕返しに、田んぼの苗を引いてしまひよつたんや）

惣五郎さん、そう考えて、そのへんの竹やぶやら、林の中やら川の土手やら、きつねがすんでいそうなところを、ぜんぶまわつて、

「おおい、思い違いすんなあ。子ぎつねが野つぼでおぼれ死んでたんを、わしが葬つてやつたんやぞお」て、どなり歩いたんやて。

その晩、惣五郎さんが寝てたら、

「よいいせえ、こうらせえ」いうかけ声が聞こえてきて、惣五郎さんの家の前でぴたととまってん。それから、おもての戸をトントンてたく音がして、

「お田引いてすまなんだ。惣五郎さん。三段歩のお田また植えた」いうて、帰って行つ

てんて。

朝になって惣五郎さんがおもての戸をあけてみたら、大きい鏡餅がひと重ね置いたあつてんて。ほんで田んぼに行ってみたら、三段歩の田んぼの苗がぜんぶもとどおりに植えてあつたいうことや。

おしまい

出典 『子どもと家庭のための奈良の民話二』村上郁再話／京阪奈教育出版

# 《共通語によるテキスト》

きつねの田植え 奈良県

むかし、かしはら樫原に、惣五郎さんそうごろうというお百姓さんがいました。惣五郎さんは、三段歩さんたんぶもある広い田んぼを持っていました。

ある夕方、惣五郎さんは、田植えを終えて、家に帰って行きました。帰るとちゅう、子ぎつねが一匹、野つぼにはまつて死んでいるのを見つけました。惣五郎さんは、「かわいそうに」と、子ぎつねを引きあげて、そばの畑のすみに埋めてやりました。

その晩、惣五郎さんが寝ていると、おもての戸をだれかがドンドンたたきました。

（こんな夜なかに何事だ）

惣五郎さんが起きあがると、家の外から五、六人の声で、

「お田引いた。惣五郎。三段歩のお田みな引いた」というのが聞こえました。

「なんのことだ」といいながら戸を開けてみましたが、外にはだれもいません。

あくる朝、惣五郎さんが田んぼに行くと、きのうせっかく植えた三段歩の田んぼの苗が、一本残らずひき抜かれていました。惣五郎さんは、おどろいて、村の人たちに、

「わしの田んぼの苗がみんな抜かれてしまったんだ。だれがやったか知らないか」と聞いてまわりました。けれども、だれも知りません。

惣五郎さんは、ふと、きのうのこと思い出して、子ぎつねを埋めた畑のすみに行ってみました。すると、土が掘りかえされていて、子ぎつねの体がなくなっていました。

（ははあ、わしが子ぎつねを殺したと、親ぎつねが思い違いをしているんだな。その仕返しに、田んぼの苗を引いてしまったにちがいない）

惣五郎さんは、そう考えて、あたりの竹やぶや、林や、川の土手など、きつねがすんでいそうな所を、ぜんぶまわって、

「おい、思い違いをするな。子ぎつねが野つぼでおぼれて死んでいたのを、わしが葬ってやったんだぞ」とどなり歩きました。

その晩、惣五郎さんが寝ていると、

「よいいせえ、こうらせえ」と、かけ声が聞こえてきて、惣五郎さんの家の前でぴたと止まりました。それから、おもての戸をトントンとたたく音がして、

「お田引いてすまなかった。惣五郎さん。三段歩のお田また植えた」といって、帰って行きました。

朝になって、惣五郎さんがおもての戸をあけると、大きな鏡餅がひと重ね置いてありました。そして、田んぼに行ってみると、三段歩の田んぼの苗がぜんぶもとどおりに植えてあったということです。

おしまい